

納所小学校 学校沿革史



納所小学校の沿革の歴史

納所の由来は古く、一説によると平安時代に、西日本の各地から淀川を遡って京の都に運ばれてきた様々な物資が、この地で陸揚げされ保管されたところから、納所という地名が生まれたということです。

当時の交通機関として淀船が活躍した川筋に当たり、関西への玄関口として交通の要所でもありました。古老の話によると大正時代でも300戸しかない戸数の中で船頭さんの家が多く、農家と僅かな店、それに5～6軒の宿屋がある村だったということでした。

陸路が整備され国道ができた昭和6年には、京都市に編入され、その後、人口も漸次増えて来たようです。納所小学校が創立されたのは全国に学制が敷かれた翌年で、現在地に移ったのは市に編入されるのと同じくしています。地域を支えてきた納所村報でも「お互いに仲良くつき合い力を合わせて暮らしていかなければならない」と説き、郷土を愛する心の大切さを訴えています。長い歴史の中で培われてきた納所小学校の校風を受け継ぎ、さらに僅かに残されている自然を大切にしながら、地域の要望に応えるべく児童の健全育成にと努力しています。

沿革略史

明治 6 年 8. 1	創立。紀伊郡納所小学校（京都府紀伊郡納所村 228 の 2）は当時の村会所（村役場）内に設置
明治 20 年 7. 1	納所村・水垂・大下津村・樋爪村を合わせて区域とし、紀伊郡納所尋常小学校と改称
明治 40 年	義務教育年限延長。校地面積 307 坪
昭和 6 年 3.28	校地を現在地に移転。京都市永松学区の校舎を移転改築校地面積 552 坪
昭和 6 年 4. 1	京都市に編入され、京都市納所尋常小学校と改称。
昭和 12 年 2. 1	現在校舎竣工
昭和 16 年 4. 1	京都市納所国民学校と改称
昭和 22 年 4. 1	京都市立納所小学校と改称
昭和 35 年 5.15	木造2教室増築竣工式
昭和 48 年 10. 1	創立100周年記念式挙行
昭和 54 年 2.21	京都市教育委員会指定（特別活動）研究報告会実施
昭和 54 年 5.11	西校舎、体育館竣工式挙行
昭和 58 年 10. 1	創立110周年記念式挙行
平成 5 年 10. 1	創立120周年記念式挙行
平成 8・9 年	教科別研修会体育科発表
平成 9 年	プール改築工事完成
平成 9～11 年度	文部省・京都市教育委員会指定「体力づくり推進校」
平成 11 年度	西校舎1階に「納所小学校ふれあいサロン」
平成 12・13 年度	フロンティアスクール推進校（体育）指定
平成 14・15 年度	「21世紀の学校づくり」推進事業推進校指定
平成 15 年度	三学期制から二期制へ移行
平成 15 年 10. 1	創立130周年記念式典挙行
平成 16 年度	みやこ学校創生事業「ステップアップスクール」推進校指定
平成 17・18 年度	みやこ学校創生事業「パイロットスクール」推進校指定 文部科学省委託・京都市教育委員会指定「生活習慣病予防等を目指した歯・口の健康づくり調査研究事業」
平成 18 年度	耐震補強工事完成 普通教室冷房化工事完成
平成 19 年度	みやこ学校創生事業「パイロットスクール」教科研究社会科・体育科指定 みやこ学校創生事業家庭学習の充実に向けた実践推進校
平成 20 年度	学習活動総合推進事業「みやこレインボー・スクール」研究指定校
平成 21 年度	京都市英語活動拠点校
平成 22 年度	伏見西支部研究発表
平成 23・24 年度	学力向上推進事業重点支援校
平成 25 年度	京都市教育委員会「豊かな学びリーディングスクール」推進事業指定校
平成 25 年 10.7	創立140周年記念式典挙行
平成 26 年度	学校運営協議会発足
平成 27 年度	「豊かな学びリーディングスクール」推進事業研究指定校

平成 29 年度	本館外壁改修工事完成
平成 30 年度	二期制から三学期制へ移行
令和2年度	伏見西支部研究発表会
令和4年度	文部科学省「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」研究指定校
令和5年度	創立150周年記念式典挙行
令和6年度	「健康教育推進事業」推進校 「いきいき理科大好き」推進校
令和7年度	「健康教育推進事業」推進校 第35回近畿小学校体育研究会 京都大会 開催校
令和8年度	「セーフスクール推進事業」研究指定校 「演劇的手法を活用したコミュニケーション教育推進事業」モデル校

